

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和2年度分「一部、令和3年度分を含む」)

静岡県立静岡聴覚特別支援学校

# 目次

1	事務事業に関すること	
(1)	事務事業の概要	1
(2)	事務執行の根拠法令調	18
2	職員に関すること	
(1)	職員調	19
(2)	職員の年齢調	21
(3)	健康管理	22
3	予算の総括に関すること	
(1)	歳入予算執行状況調	24
(2)	現金出納調	26
(3)	預金調	27
(4)	郵券等受払調	27
(5)	歳入歳出外現金調	28
(6)	歳出予算執行状況調	29
(7)	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	34
4	補助金等に関すること	
(1)	委託料に関する調	36
(2)	負担金支出調	38
5	工事に関すること	
(1)	建築工事調	40
6	財産に関すること	
(1)	公有財産調	42
(2)	借地借家等調	44
(3)	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	45
(4)	行政財産貸付・使用許可調	46
(5)	備品・図書調	48
(6)	主要備品調	54

# 事務事業の概要

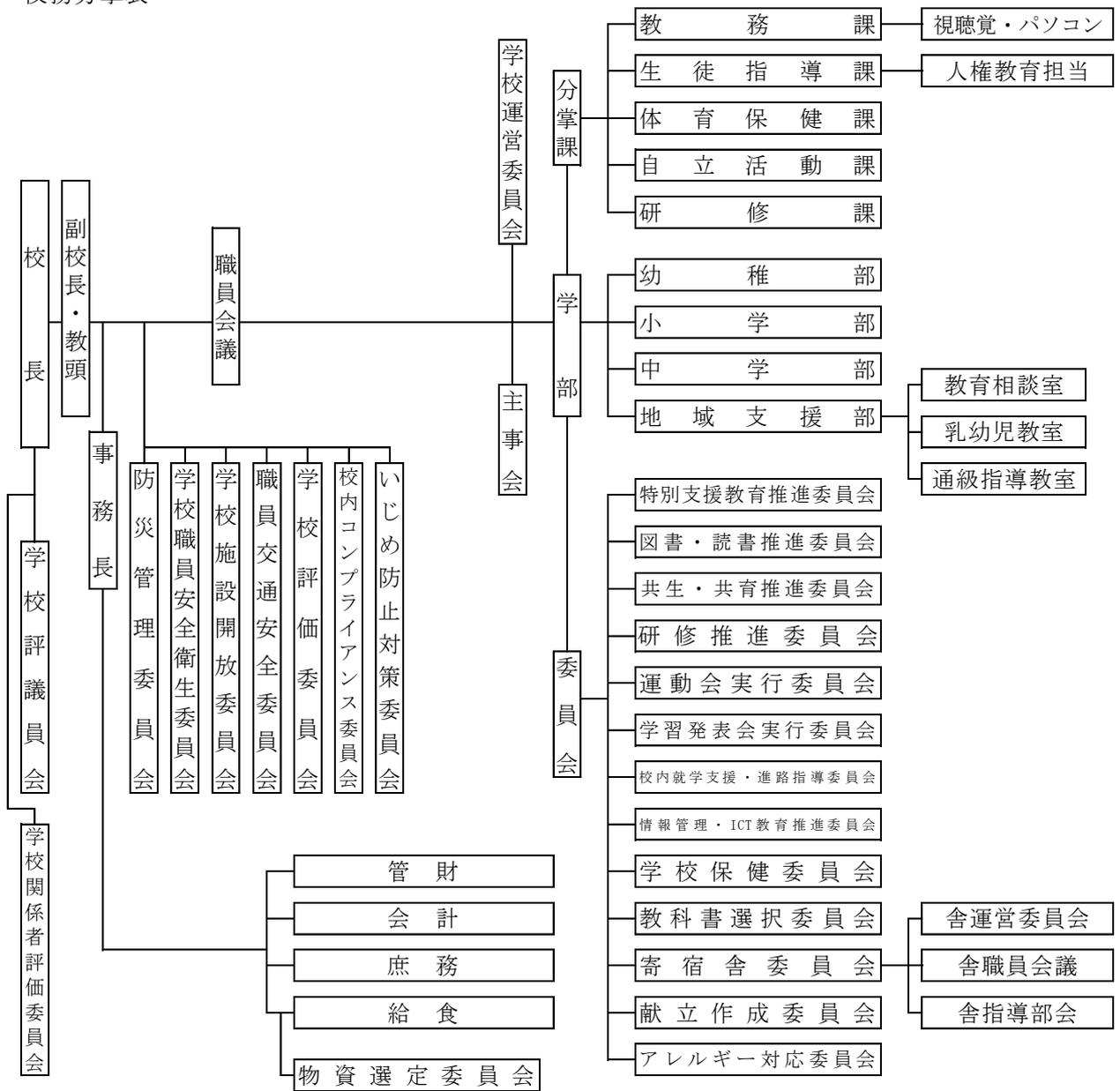
## 1 概況

### (1) 学校の沿革

大正	6.	6.	25	安倍郡安東村に私立静岡盲啞学校創立
	13.	4.	1	私立静岡盲啞学校を廃止し、私立静岡聾啞学校設立
昭和	8.	4.	1	静岡県立静岡盲啞学校（県立移管）
	9.	4.	1	静岡県立静岡聾啞学校を独立設置開校
	12.	5.	5	ヘレンケラー女史来校
	12.	11.	6	現在地（中村町251番地）に校舎新築移転
	23.	4.	1	就学義務制実施、静岡県立静岡聾学校に校名変更
	35.	3.	31	寄宿舎（2階建）工事完成
	36.	4.	1	幼稚部5歳児学級設置
	38.	4.	1	幼稚部4歳児学級設置
	42.	11.	25	創立50周年記念式典挙行
	44.	4.	1	重複障害学級設置
	44.	4.	10	相談室設置
	45.	4.	1	幼稚部3歳児学級設置
	46.	4.	1	聾学校高等部統合に伴い高等部生徒募集停止
	46.	5.	1	交流教育開始
	48.	3.	31	学則改正により高等部廃止
	48.	4.	1	幼稚部2歳児学級設置
	51.	4.	1	特殊教育教育課程研究指定校文部省指定
	52.	11.	5	創立60周年記念式典挙行
	53.	2.	28	校舎改築（第一期）工事完成
	53.	11.	15	校舎改築（第二期）工事完成
	54.	9.	11	体育館新築工事完成
	54.	12.	3	寄宿舎改修工事完成
	56.	2.	24	プール新設工事完成
	57.	12.	20	敷地1,493㎡買収
	62.	3.	31	運動場整備工事・体育館改修工事完成
	62.	6.	25	創立70周年記念式典挙行
	63.	12.	14	公共下水道接続等工事完成
平成	元	10.	6	焼却炉改築工事完成
	元	10.	21	寄宿舎スプリンクラー設置工事完成
	3.	4.	1	心身障害児適正就学推進研究校文部省指定
	4.	3.	6	体育館集団補聴器設置
	7.	9.	20	校舎外壁改修工事完成
	8.	4.	1	静岡県特殊教育（教育課程）研究指定校指定（～H9年度）
	8.	4.	19	特殊教育教育課程研究指定校文部省指定（～H9年度）
	9.	9.	30	学習棟耐震工事完了
	10.	1.	23	創立80周年記念式典挙行
	10.	9.	30	管理棟耐震工事完了
	14.	3.	11	静岡盲学校敷地内に静岡盲学校と静岡聾学校の寄宿舎を合築
	15.	1.	31	静岡聾学校内寄宿舎解体工事完了
	17.	4.	1	静岡聾学校通級指導教室及び川根通級指導教室の設置

平成	20.	4.	1	静岡県立学校設置条例の改正により静岡県立静岡聴覚特別支援学校に校名変更
	22.	8.	31	静岡聴覚特別支援学校太陽光発電設備工事完了
	23.	3.	15	校舎北側駐車場整備工事完了
	24.	3.	30	屋外トイレ建築工事完了
	24.	3.	30	F M補聴器整備完了
	25.	3.	15	災害用仮設トイレ設置工事完了
	25.	4.	1	牧之原通級指導教室の設置
	25.	4.	1	文部科学省特別支援学校（聴覚障害：特別支援教育に関する教育課程）研究指定（～H26年度）
	27.	1.	27	蓄電池付太陽光発電設備設置工事完了
	28.	4.	1	静岡県特別支援学校（言語活動を充実させ、論理的な思考力を高めるための授業づくり）研究指定（～H29年度:共同研究） 静岡県特別支援学校（特別支援学校における地域のセンター的役割に関する研究）研究指定（～H29年度:単独研究）
	29.	6.	17	2017年度～2019年度N I E 実践指定校
	29.	11.	10	創立100周年記念式典挙行
	31.	3.	25	普通教室空調設備設置工事完了
	31.	4.	1	特別支援学校における学校図書館活性化研究事業指定
令和	2.	4.	1	令和2、3年度特別支援学校におけるICTに関する研究指定
	3.	1.	15	特別教室空調設備設置工事完了
	3.	3.	26	トイレ洋式化工事完了

(2) 組織図  
校務分掌表



## 2 目指す学校像 「学びを深める学校」

全教職員が聴覚障害の専門性をもち、連携協働して一人一人の子どもの言語力を伸ばし、子どもが学びを深めながら学力を身に付け、社会の一員として自立した社会生活を送るための資質を身に付けることができる学校。

### (1) 教育目標

自己の障害への理解を促し、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心身の調和的発達を図るとともに豊かな言語力を育て、社会の一員として主体的に生きる人を育てる。

＜教育の柱＞○豊かな言語力 ○確かな学力 ○健やかな体 ○思いやりの心

### (2) 目標具現化の柱

#### ①【安全安心】子どもが健康で安全安心な生活を送ることができる学校

- ア 学校安全、健康管理、危機管理の体制整備と様々な災害に備える防災教育
- イ 他者を尊重し、思いやりの気持ちを大切にすることができる子どもの育成
- ウ 健康な生活を教職員も実践（業務改善）

#### ②【深める学び】子どもの学びの意欲に基づく学びを深める学校

- エ ICTを活用した効果的な学びの実践
- オ 子どもの学びを支える教職員の専門性の向上（障害特性を踏まえた教科指導の充実）
- カ 子どもが主体的に学び合い、「授業が楽しい」「授業がわかる」といえる授業づくり
- キ 発達段階に応じた生活言語の獲得と定着（乳幼児・幼稚部）
- ク 発達段階に応じた日本語の向上及び手話力の向上（小学部・中学部）

#### ③【連携協働】地域資源を生かし、連携協働した教育活動の充実

- ケ 地域から信頼される学校づくり
- コ 地域資源を活用した効果的な学習活動の実践
- サ 交流籍に基づく、双方に効果的な交流及び共同学習の推進
- シ 在籍校と連携した通級指導教室の運営

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1) 令和2年度の取組目標への評価及び成果と課題

#### ①【安全安心】子どもが健康で安全安心な生活を送ることができる学校

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
学校安全、健康管理、危機管理の体制整備と様々な災害に備える防災教育	防災防犯対応力が向上した教員 AB100%	AB96%	B	◎コロナ禍でできる範囲の訓練ができた。少人数での避難訓練や事後指導では学齢に応じた内容で指導できた。引き渡し訓練はより実際に近い方法を探りながら実施できた。 ●子どもたちの居住地域が広い。津波や土砂災害危険地域に居住する家庭への対応が課題である。 ◎おかしいと思う指導を見た時は教員間で指摘し合える関係を構築してきた。 ●個別に聞き取りを行い、丁寧に対応した。これまで以上の教員の
	学校は実態に合った防災教育を行っていると答えた保護者 AB90%以上	AB100%		
	約束を守って避難できた幼児児童生徒 AB90%以上	AB100%		
	体罰ゼロと答えた保護者、児童生徒 AB100%	保護者 AB100% 児童生徒 AB89%		
	情報共有したことで事故を未然に防ぐことができた教員	AB96%		

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
	AB100 %			意識向上が必要である。 ◎素早く情報提供してきたことで、教員の危機管理意識を高めた。
他者を尊重し、思いやりの気持ちを大切にすることができるとの育成	他者を尊重し、思いやりの心を育てることができた教員 AB90%以上  友達の良さを認め、誰とでも仲良くすることができたと答える保護者、幼児児童生徒 AB90%以上  人権意識が向上したと答える教員 AB90%以上	AB79%  保護者 AB96% 児童生徒 AB100%  AB100%	B	◎教員が常に人権を意識しながら指導に当たることができた。 ◎事案に対して学部を超え、学校組織で丁寧に対応することができた。 ●適宜指導している。個別案件を積み上げ、丁寧に引き継いでいくことが必要。 ●障害の多様性を認め合う学習環境、教育課程の工夫が必要。 ●障害特性を理解した上で人間関係のトラブルを未然に防ぐことができる教員の専門知識の習得が一層求められる。
健康な生活を教職員も実践（業務改善）	時間外勤務が月 45 時間以内の教職員 AB90%以上  時間外勤務が月 80 時間以上の教職員ゼロ  設定された退庁時刻を教職員全員が守る  ワークライフバランスが整った教員 AB80%以上  相談しやすい職場と回答する教員 AB90%以上  衛生面で職場環境が良いと答える教員 AB90%以上	AB78%  月 80 時間超え 0 人  AB92%  AB87%  AB100%  AB83%	B	◎管理職や教務課の繰り返しの声掛けがあり、職員の意識が高まった。 ◎優先順位をつけ、計画的に業務を行う教員が増えた。 ●日々変わる子どもの様子に対応するための臨時会議が多かった。会議終了後の授業準備が時間外勤務となった。今後、行事や会議の精選、より適切な授業時間数の割振りが必要。 ●ワークライフバランスが整ったかどうかは個人の主観で評価基準が統一できなかった。ストレスをためないように、風通しの良い職場環境を整えることが必要。

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
				◎日頃から相談しやすい職員集団を構築している。大きく体調を崩す職員はいなかった。 ◎養護教諭を中心に職場環境を整えてきた。修理を要する部分は即時対応できた。 ◎こまめな消毒やマスクの着用を徹底し、感染を防ぐことができています。

②【深める学び】子どもの学びの意欲に基づく学びを深める学校

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
ICT を活用した効果的な学びの実践	ICT活用は学びを深めるために有効であると回答する教員 AB80%以上  補聴援助システムや音声認識システムなどを活用できた教員 AB100%  学校はICT教育を取り入れていると思う保護者 AB80%以上  ICT を活用したことにより授業がわかるようになった児童生徒 AB80%以上	AB100%  AB100%  AB88%  AB89%	A	◎推進委員会を設置し、ICT を推進したことにより、PC やタブレット、インターネットなどを活用する教員が増えた。 ◎休校期間中の登校日に保護者にオンライン説明会を実施した。学部ごと読み聞かせや体操などの動画を配信した。 ◎休校期間中、家庭と学校をつないで健康観察や補習を行うことができた。 ◎オンライン研修などに参加し、充実した職員研修ができた。 ◎ロッジャーの数量増加で常時使用できるようになった。 ●教員はもとより、子どもたち自身が PC やタブレットを活用できるようになっていくことが必要。
子どもの学びを支える教職員の専門性の向上 (障害特性を踏まえた教科指導の充実)	個の実態に応じ、聴覚障害の特性に配慮した授業ができる教員 AB90%以上  スキルちゃんを意識して幼児児童生徒に関わることができた教員 AB90%以上	AB100%  AB100%	A	◎一人一授業を行い、研修成果を学部内で共有できた。 ◎外部の助言者から実態把握や具体的な指導方法を学び、指導を振り返るきっかけになった。 ◎スキルちゃんを校内各所に掲示し、障害特性への配慮を常に意識することができた。

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
				●校内には様々なキャリアの教員がいる。経験豊かな教員の知識と技能を若手に伝え、育成していくことが必要。
子どもが主体的に学び合い、「授業が楽しい」「授業がわかる」といえる授業づくり	<p>幼児児童生徒が主体的に学びに向かう授業づくりができた教員AB90%以上</p> <p>授業が楽しい、授業がわかると答える幼児児童生徒 AB100%</p> <p>学校の授業はわかりやすいと思う保護者 AB90%以上</p> <p>学部研修や一授業を通して授業改善できた教員 AB90%以上</p>	<p>AB96%</p> <p>楽しい AB100% わかりやすい AB100%</p> <p>AB92%</p> <p>AB91%</p>	A	<p>◎子どもたちにとってわかりやすいかを常に考えて授業づくりに努めることができた。</p> <p>◎子どもたちは授業が楽しく、わかりやすいと回答した。</p> <p>●教員は重複障害に対する指導技術を高め、個に応じた指導の充実が必要。</p> <p>◎スケジュール調整に苦勞したが一授業では、多くの職員から意見を聞き、授業改善できた。</p> <p>●所属学部だけでなく、乳幼児教室、幼稚部、小学部、中学部と縦のつながりを意識しながら指導をすることが必要。</p> <p>●実態に応じた教育課程の見直しが必要。</p>
発達段階に応じた生活言語の獲得と定着（乳幼児教室）（幼稚部）	<p>乳幼児の発達に関する保護者学習会を年間3回実施する。</p> <p>保護者学習会を年間9回、おしゃべり会を年間11回実施する。</p> <p>学習会に満足した保護者 AB100%</p>	<p>実施できた</p> <p>実施できた</p> <p>AB100%</p>	A	<p>◎1歳児教室では2回、2歳児教室では5回実施できた。内容は子どもの育ちと保護者のかかわり方など。言葉の発達に対する保護者の意識が高まった。</p> <p>◎幼稚部では、保護者学習会8回、おしゃべり会9回実施できた。聴覚障害に関することだけでなく、幼児期の子どもの発達を促す親子のかかわりを深める活動になった。</p>
発達段階に応じた日本語の向上及び手話力の向上（小学部）（中学部）	<p>読み聞かせや読書の時間を週1回以上実施する。</p> <p>日記や感想文の指導を通して子どもたちの日本語力が向上し</p>	<p>週1回以上実施した教員77%</p> <p>AB91%</p>	B	<p>◎図書・読書推進委員会を中心にコロナ禍でできる活動を行った。11月の「秋の読書月間」では、ペア読書を行った。教師のおすすめの本を子どもが読み、感想を書い</p>

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
	たと答える教員 AB80%以上  自分の手話力が向上した教員 AB80%	AB92%		た。読書への関心を高めることができた。 ●休校期間中の遅れを取り戻すため教科指導時間の確保が優先され、読書時間の確保が難しかった。 ●学部によってコミュニケーション手段が違うので手話力だけでなく、キューサインの習得も必要との意見がある。

③【連携協働】地域資源を生かし、連携協働した教育活動の充実

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
地域から信頼される学校づくり	学校は学校周辺地域とつながりがあると答えた保護者 AB100%  中部地区保健センター巡回参加者の満足度 AB100%  監査における指示注意0件  学校経営予算の計画的な執行 12月末執行率 60%以上	AB92%  AB95%  指示注意無し  執行率 64%達成	B	◎規模を縮小して防災教育推進のための連絡会議を行い、地域防災体制の確認ができた。 ●今年度に限ってはコロナ禍で地域と直接つながることは困難だった。感染防止に配慮しながら可能な方法でつながっていききたい。 ◎中部地区保健センター巡回ではおおむね満足いただけた。 ●既に知っている内容だったという参加者の意見があった。次年度に引き継ぎたい。 ◎事務部のチェック体制を整え、法令を遵守した事業執行ができた。 ◎学校経営予算の有効的な執行を常に心がけ、全職員に共通理解を図り、教育効果を高める運用ができた。
地域資源を活用した効果的な学習活動の実践	地域資源を活用できた教員 AB90%以上  各学部で地域とつながりをもつ。	AB86%	C	◎コロナ禍で可能な範囲での活用に努めた。 ●つながりが少なかった。感染状況により幼児児童生徒の安全を第一に考えた上で、できることを行っていく。

取組目標	成果目標	達成状況	評価	◎成果及び●課題
交流籍に基づく、双方に効果的な交流及び共同学習	交流籍による交流の良さを実感できたと答えた児童生徒、保護者、交流相手校 AB90%以上  交流校（大きな集団）で聞こえへの配慮を依頼できた児童生徒 AB80%以上	児童生徒 AB100% 保護者 AB100% 交流相手校（12校中10校回答） AB100%  AB73%	B	◎実施者数は幼2人、小13人、中2人。 ◎交流校と事前の打ち合わせを丁寧に行った上で実施できた。 ◎居住地域で声をかけてもらうなど関わりが広がった。 ◎子どもたちは意欲的に取り組むことができた。聞き取れなかった時の対応に課題がある。全て聞き取れたという意見もあった。 ●両校にとって学びのある交流ができるよう一層の理解啓発が必要。
在籍校と連携した通級指導教室の運営	在籍校訪問の実施率 90%以上  在籍校への支援を行い、理解、連携が深まったと答える地域支援部教員 AB90%以上	AB98%  AB90%	A	◎在籍校 40校中 39校で在籍校訪問を実施できた。 ◎在籍校によって違いはあるものの、本校教員が訪問することで共通理解を促す機会となった。

(2) 令和3年度の取組目標・達成方法・成果目標

① 【安全安心】子どもが健康で安全安心な生活を送ることができる学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
学校安全、危機管理の体制と様々な災害に備える教育（防災、感染防止）	感染状況に応じた感染予防対策、感染時対応等の周知徹底を図る 喫緊の火災に即した防災・防犯体制の見直し 聴覚障害者の視点から見た東日本大震災の学習実施 ふじのくにジュニア防災士取得（小5から中学生） 学校安全計画の見直し	学校の新しい生活様式に基づき、感染拡大防止対策を徹底することができた教員AB100% 感染しないよう行動することができた幼児児童生徒AB100% 学校は対策を十分講じていると回答する保護者AB90%以上 防災訓練の回数を増やしたことで防災意識が高まった教員AB90%以上 発達段階・聴覚障害に応じた実践的な防災教育ができた教員AB100% 本校学校安全計画に基づき、計画的に安全教育を行うことができた教員AB90%以上 保健だよりや掲示内容を基に学級での保健指導の充実。保健指導が充実した教員AB100%

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
他者を尊重し、思いやりの気持ちを大切にすることができるとの育成	思いやりの心につながる行動の習慣化を促す 「人権の花」運動 多様な価値観を尊重する道徳教育の推進 ゼロの日トークの充実 スクールカウンセラーなどによる子どもに思いやりの心を育てる講演会実施	子どもに思いやりの心を育てる教育ができたという回答する教員 AB90%以上 自分や友達の良さに気づくことができた児童生徒 AB100% 人間関係でトラブルが無いと回答する保護者 AB80%
健康な生活を教員も実践	タイムマネジメントを意識した業務改善の維持 縦、横に風通しの良い人間関係の構築 時間内の業務を推奨、定時退庁しやすい風土づくり 職場の健康保持推進の働きかけ 感染予防のセルフチェックを活用した啓発	時間外業務が月 45 時間以内の教職員 AB100% 所属学部は業務改善の意識をもって会議や行事を精選したと回答する教員 AB90%以上 自分は業務改善したと自己評価する教職員 AB90%以上 相談しやすい職場と回答する教職員 AB100% セルフチェックをしたことにより意識が向上した教員 AB90%以上

② 【つなげる学校】 縦にも横にもつながる効果的な学びを進める学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
カリキュラムマネジメントによるつながりのある教育課程の編成	新学習指導要領に基づき、学校の特色を生かしたカリキュラムマネジメント 教育活動の再構築と定期的な見直し（PDCA） つながりのある特色ある教育課程の編成 教育課程に基づいた計画的・効果的な予算運用	教科横断的な視点で定期的に年計を見直すことができた教員 AB90%以上 計画的・効果的な予算運用
子どもが主体的に学び合い「授業が楽しい」「授業がわかる」といえる授業づくり	聴覚障害の特性を踏まえた「わかる授業」の実践 教科指導の充実 一人一授業の計画的な実施 学部研修の充実 聴覚障害に関する研修会の実施（手話学習会 8 回、「スキルちゃん」ミニ講座 10 回）	授業が楽しいと回答する児童生徒 AB100% 授業がわかると回答する児童生徒 AB100% 学校の授業はわかりやすいと回答する保護者 AB100% 全体研修で校外助言者からの指導助言を受け、授業改善ができた教員 AB90%以上 学部研修により授業改善ができたという回答する教員 AB100% 研修課、自立活動課の働きかけで障害特性を踏まえた「わかる授業」づくりを心掛けた教員 AB90%以上 「スキルちゃん」を授業づくりに活用することができた教員 AB100% 「スキルちゃん」を意識して子どもた

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
		ちに接することができた教員AB100% 手話学習会等により手話の技能が向上した教員AB80%以上
ICTを活用した効果的な学び（幼稚部、小学部、中学部）の充実と共有	ICT を活用した効果的な学びの蓄積を教員間で共有 ICT を活用できる学習環境の整備 GIGAスクール構想に基づき、積極的な活用を促す	ICT 活用能力が向上したと回答する教員 AB90%以上 子ども自身が PC やタブレット端末に触れる機会を設定した教員 AB90%以上 PC やタブレット端末等の機器を使うのが楽しいと回答する児童生徒 AB80%以上 PC やタブレット端末等の機器を使う授業はわかりやすいと回答する児童生徒 AB90%以上 補聴援助システムを使用して授業を行った教員 AB100% 音声認識システムを活用した小中学部教員AB80%以上

③【連携協働】連携協働した教育活動の充実

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
専門性を生かした乳幼児教育相談の充実	保護者と教員の信頼関係に基づく、親子関係づくり仲間づくりを大切に早期支援・乳幼児教室の充実	教育相談マネージャーとの連携を図り、教育相談事業が充実したと回答する教員AB100% 情報交換会で得た知識を校内掲示板で提供し、乳幼児教育相談を知ることができたと回答する教員AB90%以上 乳幼児の発達に関する保護者学習会を年間4回以上実施し、適切な情報提供をする。事後アンケートで有意義だったと回答する保護者AB90%以上
在籍校から頼られる通級指導教室の充実	在籍校への積極的な支援と通級生を支える自立活動の充実	在籍校訪問実施率 90% 在籍校に対するアンケート実施。満足したと回答する学校 100%
コロナ禍における学校理解のための情報発信	コロナ社会における学校理解のための教育実践の発信	学部ごと月 1 回ホームページを更新し、学習活動を発信する 学部ごと年間 2 回以上、学校間交流校や交流籍校に向けて本校の紹介や学習の様子を発信する

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取組概要	成果及び課題
令和2年度	学びを深める授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害の特性を踏まえた教科指導の充実。</li> <li>・発達段階に応じた生活言語、日本語の獲得と手話力の向上を促す。</li> <li>・学部研修の充実。</li> </ul>
	教員の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の手話レベルに応じた手話学習会の実施。</li> <li>・聴覚に関する研修会の実施。</li> <li>・令和元度に引き続き、自立活動課、生徒指導課を中心に「スキルちゃん」「ゼロの日トーク」の充実。</li> </ul>
	業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務課を中心に教職員がワークライフバランスを整え、業務改善意識が向上するように働きかけを行う。</li> </ul>
令和3年度	学びをつなげる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に教職員を年齢段階で2グループに分け、指導目標等の連続性を確認する研修会を実施。</li> </ul>
	教員の専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の手話レベルに応じた手話学習会の実施。</li> <li>・聴覚に関する研修会の実施。</li> <li>・令和2年度に引き続き、自立活動課、生徒指導課を中心に「スキルちゃん」「ゼロの日トーク」の充実。</li> </ul>
	業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退庁日を学部ごととした。また、設定時間を早め、教職員がワークライフバランスを実現できる環境を整備。</li> </ul>

#### 5 教職員について

##### (1) 異動状況

区 分	校長	副校長	教頭	教諭	小計	教諭 (任)	教諭 (臨)	栄養士 (臨)	会計年度 任用 職員	小計	計
転 出	1		1	3	5						5
退 職							2		2	4	4
転 入				5	5		1	1		2	7
新 任	1	1		1	3	2			4	6	9
差引増減	0	1	△1	3	3	2	△1	1	2	4	7

##### (2) 現員数

(令和3年7月31日現在)

区分	校長	副校長	事務長	教諭	養護 教諭	栄養士	主査	主任	主任 技能員	小計	教諭 (任)	教諭 (臨)	栄養士 (臨)	会計年度 任用 職員	学校医	薬剤師	小計	計
男		1		8			1		1	11	1			4	4	1	10	21
女	1		1	17	1	1		1		22	2	1	1	1			5	27
計	1	1	1	25	1	1	1	1	1	33	3	1	1	5	4	1	15	48

(3) 健康管理について

ア 令和2年度

- (ア) 感染症予防対策として「職場（職員）の健康管理」の指針を作成し、共通理解を図った。
- (イ) 感染症予防対策として毎朝夕の体温測定、手洗い・手指消毒、マスク（フェイスシールド）を着用した。
- (ウ) ストレスがたまらないように普段から相談しやすい、風通しの良い人間関係を構築した。
- (エ) 職員安全衛生委員会を毎月1回行い、職員の心身の健康状態、安全な職場環境について共通理解、改善を図った。

イ 令和3年度

- (ア) 感染症予防対策として、令和2年度に作成した「職場（職員）の健康管理」の指針を改訂し、共通理解を図りながら感染症対策を徹底している。
- (イ) 新たな感染症予防対策として、非接触型の体温計での体温測定、ランチルームの密の回避、はみがきの中止等を行っている。
- (ウ) 定時退勤日の設定時間を早めて、早めの退勤を促し、疲れをためないようにしている。
- (エ) 職員安全衛生委員会を毎月1回行い、職員の心身の健康状態、安全な職場環境について共通理解、改善を図っている

(4) 教職員の研修について

ア 令和2年度

(ア) 幼稚部

取組事項	研修内容	成果と課題
生き生きとしたことばを育てる支援を目指して～話し合い活動を窓口として～	「話し合い活動」及び「言語の発達」についての基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話し合い活動」についての捉えの共通理解を図り、すべての教員が同じ土台で研修をスタートさせることができた。</li> <li>・「ことばの発達評価表」は、ことばの発達段階を知る資料となり、定期的に学部教員で評価し合ったことで、実態を学部教員で把握でき、子どもの変容を捉えることができた。</li> </ul>
	授業研究 (一人一授業の実践、全体研修年間1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案にどのことばを扱うかを明示することで、授業を考えているときに、ことばの整理ができた。(このことばは、聞かせておくべきことばか、押さえておくべきことばかの区別等)</li> <li>・話し合い活動を「いつでもどこでも」できるようにするために、担任外の支援時間(複学年合同)における話し合い活動の取り入れ方を、授業づくりで考えたい。</li> </ul>

(イ) 小学部

取組事項	研修内容	成果と課題
対話を通して一人一人がわかる授業を目指して	実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学習グループも、人数が少ない上に、聴力、言語力、コミュニケーション手段の使い方等の実態差が大きいため、「児童同士」の対話の難しさを改めて痛感した。しかし、教師が橋渡しを行ったり課題自体を易しくしたりすれば、友達の考えに関心を持ったり自分の考えを伝えようとしたりして刺激し合う姿も見られた。</li> </ul>

取組事項	研修内容	成果と課題
	授業研究 (一人一授業の実践、全体研修年間1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「対話」を充実させ、一人一人がわかる授業を目指してきた結果、特に「児童と教師」の対話に関して、多くの支援方法が取り組まれ、それぞれの児童が自分なりの考えをもって発表できるようになってきた。</li> <li>・今後は、児童同士で考えを深めることをねらうときの課題の内容、及び学習グループの児童の実態や課題に応じた橋渡し方法について、丁寧に検討していきたい。</li> </ul>

(ウ) 中学部

取組事項	研修内容	成果と課題
深い学びがある授業づくりを目指して～多様な見方・考え方から学び、自分の考えを整理する～	実態把握 診断的評価	・教研式全国標準Reading-testを年度初めに実施し、年間2回個別の指導計画を読み合い学部教員で生徒の課題、指導方針などを共通理解することができた。
	授業内評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が教師の指示が理解できているか、友達の発言を受け止めているかなど、授業内での様々な場面で6項目について形成的評価を行い日々の授業改善に生かすことができた。</li> <li>・形成的評価は教員の意識にばらつきがあったため、授業案への記載や日々の授業でも意識できるように形成的評価の内容確認改善も必要であった。</li> </ul>
	授業研究 (一人一授業の実践、全体研修年間1回)	・抽象的思考力が十分でなく、授業に見通しがもちにくい、学習内容の前提となる知識が不足しているなどの生徒の実態から「考えるための材料」をそれぞれの教科で準備し授業に臨むことができた。

(エ) 地域支援部

取組事項	研修内容	成果と課題
情報の取り方がわかり、実践できる通級生の育成を目指して	実態把握	・対応表を基に評価シートを作成することで、共通の視点をもってケース会で意見交換をすることができ、通級生の実態把握が深まり、きこえの課題意識を高める働きかけを工夫することができた。
	課題の分類と働きかけの工夫	・「『働きかけ』のモデル」は、働きかけの方法を具体的に工夫するためのベースとなるものなので、通級生の幅広い実態に対応してどの子にも適用できるモデルとなるように、一部の項目をより広い意味を含む内容に修正する必要があるがあった。
	事例研究	・通級担当による事例児の変容の評価および通級生在籍校担当アンケートの結果から、通級生自身のきこえの課題の理解が進んでも、心理的抵抗が大きい課題については、ハードルが高く、行動変容を起こしにくいことがわかった。

イ 令和3年度

(ア) 幼稚部

取組事項	研修内容
生き生きとしたことばを育てる支援を目指して～話し合い活動を窓口として～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話し合い活動」及び「言語発達」についての基礎研修</li> <li>・授業分析の視点の確認</li> <li>・実態把握</li> <li>・授業研究（一人一授業、全体研修年1回）</li> </ul>

(イ) 小学部

取組事項	研修内容
対話を通して、一人一人がわかる授業を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握（診断的評価）</li> <li>・授業研究（一人一授業研、全体研修年1回）</li> </ul>

(ウ) 中学部

取組事項	研修内容
深い学びがある授業づくりを目指して～問題解決に向かい、考えを深め整理する～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握（診断的評価）</li> <li>・授業内評価（形成的評価）</li> <li>・授業研究（一人一授業研、全体研修年1回）</li> <li>・事例生徒</li> </ul>

(エ) 地域支援部

取組事項	研修内容
「学校生活や学習に自信をもって意欲的に参加できる通級生」の育成を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「対応表」の修正およびチェックリストの作成</li> <li>・事例児のきこえの課題と障害認識の捉え直し</li> <li>・事例児の「心理的抵抗」のサポートに関する対応表を活用した支援の工夫と「評価シート」による形成的評価</li> <li>・学部研で「評価シート」を基に話し合い、各担当の形成的評価を修正</li> <li>・対応表を活用した一人一授業研と事前研・事後研</li> <li>・事例児の課題意識変容の評価および「心理的安定」へのサポートに関する働きかけの有効性の分析</li> </ul>

## 6 防災対策について

全幼児児童生徒及び職員を対象とした防災訓練を実施し、火災・地震等災害の種類に応じた予防措置や避難方法等について、周知徹底を図っている。引き渡し方法や津波に関する警報発令時の対策等、南海トラフ地震の被害想定等を踏まえた体制になっている。

また、本校は、静岡市指定の一次避難地・避難所となっており、地域防災組織との連携を図るため、毎年、地域連絡会を開催している。平成25年度、静岡市と福祉避難所としての協定を締結し、地域の防災拠点としての役割がさらに強く求められることになった。今後も、適時に必要な役割を果たせるよう、関係機関との調整とともに本校の防災力の強化を図っていく。

国の事業として、平成22年度の太陽光発電設備及び平成24年度の災害用マンホールトイレがそれぞれ整備された。平成26年度には、太陽光発電設備に蓄電機能を付加する工事が施工された。防災拠点としての機能強化に役立てていく。

### (1) 令和2年度防災訓練実施状況

月 日	内 容
6月17日	避難訓練（地震）、避難経路の確認
7月30日	職員防災計画講習会・職員防災研修
8月24日	避難訓練（引渡し訓練）
10月1日	防災訓練（災害用伝言ダイヤル活用訓練）
11月18日	避難訓練（火災）
12月2日	非常食体験
1月26日	避難訓練（地震予告なし）

### (2) 令和3年度防災訓練実施状況

月 日	内 容
4月21日	避難訓練（地震）、避難経路の確認
7月13日	避難訓練（地震予告なし）
7月27日	職員防災計画講習会・職員防災研修
夏季休業中	非常食体験
8月26日	避難訓練（引渡し訓練）
10月1日	防災訓練（災害用伝言ダイヤル活用訓練）
11月18日	避難訓練（火災）
1月24日～28日	避難訓練（地震予告なし）

## 7 学校開放について

本校では、地域の人々に積極的に学校施設を開放している。

### (1) 令和2年度利用状況

施設名	利用目的	年間利用 日数	年間利用 人数	備考
体育館	バレーボール、バドミントン、 バスケットボール、サッカー、 卓球、自治会行事	延 82 日	延 1,260人	電気料実費徴収 12,459円
運動場	サッカー	延 25 日	延 595人	
計		延 107 日	延 1,855人	電気料実費徴収 12,459円

### (2) 令和3年度利用状況

(令和3年7月31日現在)

施設名	利用目的	年間利用 日数	年間利用 人数	備考
体育館	バレーボール、バドミントン、 バスケットボール、サッカー、 卓球	延 40 日	延 675人	電気料実費徴収 4,194円
運動場	サッカー	延 36 日	延 755人	
計		延 76 日	延 1,430人	電気料実費徴収 4,194円

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
学校教育に関すること	教育基本法(第1条、第2条) 学校教育法(第1条、第2条、第3条、第72条、第74条、第76条、 第77条、第80条) 学校教育法施行規則 学校保健安全法(第5条) 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学支援委員会規則
学校の管理・運営に関すること	学校教育法(第137条) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(第33条) 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法(第21条、第22条) いじめ防止対策推進法 学校保健安全法(第15条、第27条) 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法(第3条、第4条) 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律(第2条、第3条) 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護及準要保護児童 生徒援助費補助金交付要綱 要保護及準要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就 学奨励費補助金交付要綱

## 職 員 調

(令和3年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	松本 仁美		□□□	□□□	□□□
2	副校長	池田 昌史		□□□	□□□	□□□
3	事務長	土戸 美樹		□□□	□□□	□□□
4	教諭	守屋 知恵子	□□□	□□□	□□□	□□□
5	教諭	杉山 修一	□□□	□□□	□□□	□□□
6	教諭	大木 光一	□□□	□□□	□□□	□□□
7	教諭	小林 高志	□□□	□□□	□□□	□□□
8	教諭	青島 夕美子	□□□	□□□	□□□	□□□
9	教諭	春田 美賀子	□□□	□□□	□□□	□□□
10	教諭	橋田 雅子	□□□	□□□	□□□	□□□
11	教諭	赤堀 友子	□□□	□□□	□□□	□□□
12	教諭	松木 美穂	□□□	□□□	□□□	□□□
13	教諭	秦 武司	□□□	□□□	□□□	□□□
14	教諭	本間 直子	□□□	□□□	□□□	□□□
15	教諭	矢澤 奈己	□□□	□□□	□□□	□□□
16	教諭	石垣 麻弥	□□□	□□□	□□□	□□□
17	教諭	石上 俊介	□□□	□□□	□□□	□□□
18	教諭	勝又 一步	□□□	□□□	□□□	□□□
19	教諭	伊久美 香奈	□□□	□□□	□□□	□□□
20	教諭	土橋 達也	□□□	□□□	□□□	□□□
21	教諭	西川 依里	□□□	□□□	□□□	□□□
22	教諭	相澤 侑子	□□□	□□□	□□□	□□□
23	教諭	永野 要	□□□	□□□	□□□	□□□
24	教諭	瀧戸 美保	□□□	□□□	□□□	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
25	教諭	山竹 玲奈	□□□	□□□	□□□	□□□
26	教諭	濱田 慶彦	□□□	□□□	□□□	□□□
27	教諭	原山 玲	□□□	□□□	□□□	□□□
28	教諭	佐藤 和巴	□□□	□□□	□□□	□□□
29	養護教諭	栗田 裕恵	□□□	□□□	□□□	□□□
30	栄養士	木幡 優美	□□□	□□□	□□□	□□□
31	主査	西尾 稔	□□□	□□□	□□□	□□□
32	主任	長田 実穂	□□□	□□□	□□□	□□□
33	主任技能員	望月 政志	□□□	□□□	□□□	□□□
平均年数					3.7	

職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
教諭(任)	田辺 三菜子	□□□	□□□	□□□	□□□
教諭(任)	久永 恭子	□□□	□□□	□□□	□□□
教諭(任)	伏見 健司	□□□	□□□	□□□	□□□
教諭(臨)	伊藤 千華	□□□	□□□	□□□	□□□
栄養士(臨)	半田 好美	□□□	□□□	□□□	□□□
会計年度任用職員	鈴木 信行	□□□	□□□	□□□	
会計年度任用職員	鈴木 康生	□□□	□□□	□□□	
会計年度任用職員	市川 楓	□□□	□□□	□□□	
会計年度任用職員	河合 繁男	□□□	□□□	□□□	
会計年度任用職員	佐藤 一雄	□□□	□□□	□□□	
学校医	飯室 優	□□□	□□□	□□□	
学校医	川村 洋行	□□□	□□□	□□□	
学校医	高木 明	□□□	□□□	□□□	
学校医	山田 徹	□□□	□□□	□□□	
薬剤師	細木 富士夫	□□□	□□□	□□□	

## 職員の年齢調

(令和3年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	7人	
30歳以上40歳未満	8人	
40歳以上50歳未満	7人	
50歳以上56歳未満	6人	
56歳以上61歳未満	4人	
61歳以上	1人	再任用
計	33人	平均年齢 41.8 歳

## 健康管理

### 1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 31 人 職員数 31 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	%

(1) 未受診の理由

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

### 2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	(10) 人
D 2		要経過観察	( 9) 人
D 3		医 療 不 要	(12) 人
区 分 者 計			(31) 人
未区分者数			(2) 人
合 計			33 人

(1) 管理区分 A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 1人  
イ 新規採用 1人  
ウ 自己都合による未受診 人  
エ その他 ( ) 人

余白

## 歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 08使用料及び手数料	円	円	円
	18,000	18,000	0
項 01使用料	18,000	18,000	0
目 09教育使用料	18,000	18,000	0
08庁舎等使用料	18,000	18,000	0
款 14諸収入	17,979	17,689	290
項 08雑入	17,979	17,689	290
目 02雑入	17,979	17,689	290
72保険料負担金	4,730	4,730	0
保険料負担金	792	792	0
非常勤職員	3,938	3,938	0
75雑収	13,249	12,959	290
計	35,979	35,689	290

## 歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
款 08使用料及び手数料	円	円	円
	18,000	18,000	0
項 01使用料	18,000	18,000	0
目 09教育使用料	18,000	18,000	0
08庁舎等使用料	18,000	18,000	0
款 14諸収入	72,204	71,798	406
項 08雑入	72,204	71,798	406
目 02雑入	72,204	71,798	406
76保険料負担金	65,723	65,723	0
保険料負担金	19,433	19,433	0
非常勤職員	46,290	46,290	0
79雑収	6,481	6,075	406
計	90,204	89,798	406

# 執行状況調

(令和 2年度)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.3
0	0	0	0	100.0	98.3
0	0	0	0	100.0	98.3
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	97.8
0	0	0	0	100.0	99.1

# 執行状況調

(令和 3年度)

(令和 3年 7月31日現在)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	93.7
0	0	0	0	100.0	99.5

## 現金出納調

(令和 2年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及 枚 数	現金払込調書 兼領収書 及 び 枚 数
	越 高	受 高	計				
雑入	円 0	円 790	円 790	円 790	円 0	円 790 1 枚	円 790 1 枚
計	0	790	790	790	0	790 1 枚	790 1 枚

## 現金出納調

(令和 3年度)

(令和 3年 7月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及 枚 数	現金払込調書 兼領収書 及 び 枚 数
	越 高	受 高	計				
雑入	円 0	円 890	円 890	円 890	円 0	円 890 1 枚	円 890 1 枚
計	0	890	890	890	0	890 1 枚	890 1 枚

## 預 金 調

(令和3年7月31日現在)

金融 機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 馬淵支店	無利息型 普通預金	0029530	静岡県立静岡聴覚特別支援学校 資金前渡者 松本仁美	0	給与等
静岡銀行 馬淵支店	無利息型 普通預金	0550194	(自振口) 静岡県立静岡聴覚特別支援学校 資金前渡者 松本仁美	0	資金前渡 (自振口) 水道代等口座振替口座
静岡銀行 馬淵支店	無利息型 普通預金	0153062	静岡聴覚特別支援学校就学奨励費 代理受領者 松本仁美	0	就学奨励費代理受領口座
残 高 合 計				0	

## 郵 券 等 受 払 調

(令和3年7月31日現在)

(単位: 枚、円)

区分	種類	令和2年度						令和3年度						摘要		
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵券	50 円券	0	0	1	50	1	50	0	0	0	0	0	0	0	保護者連絡/事務 書類/渉 外連絡文 書/返信用	
	84 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1,428	17	1,428	0		0
	500 円券	0	0	1	500	1	500	0	0	0	0	0	0	0		0
	124 円葉書	0	0	1	124	1	124	0	0	0	0	0	0	0		0
	レターパック520	0	0	2	1,040	2	1,040	0	0	3	1,560	1	520	2		1,040
計		0	0	2	1,714	2	1,714	0	0	3	2,988	1	1,948	2	1,040	

## 歳入歳出外現金調

(令和 2年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
所得税	円 1,484	円 71,016	円 66,417	円 6,083	
計	1,484	71,016	66,417	6,083	

## 歳入歳出外現金調

(令和 3年度)

(令和 3年 7月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
所得税	円 6,083	円 45,511	円 44,182	円 7,412	
計	6,083	45,511	44,182	7,412	

# 歳出予算執行状況調

(令和 2年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	35,305,156	35,305,156	0	
項 02 教育委員会費	4,986,320	4,986,320	0	
目 02 教育総務費	191,400	191,400	0	
18 備品購入費	191,400	191,400	0	
目 03 教育管理費	4,674,920	4,674,920	0	
09 旅費	0	0	0	
02 普通旅費	0	0	0	
11 需用費	3,216,429	3,216,429	0	
01 その他の需用費	3,216,429	3,216,429	0	
12 役務費	216,250	216,250	0	
14 使用料及び賃借料	0	0	0	
18 備品購入費	1,242,241	1,242,241	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 07 特別支援学校費	19,183,735	19,183,735	0	
目 01 特別支援学校費	688,871	688,871	0	
01 報酬	47,000	47,000	0	
03 非常勤職員報酬	47,000	47,000	0	
04 共済費	36,276	36,276	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	36,276	36,276	0	
09 旅費	605,595	605,595	0	
01 その他の旅費	6,074	6,074	0	
02 普通旅費	599,521	599,521	0	
目 02 特別支援学校管理費	18,494,864	18,494,864	0	
01 報酬	1,608,800	1,608,800	0	
03 非常勤職員報酬	1,608,800	1,608,800	0	
03 職員手当等	122,850	122,850	0	

Z1B0030  
Z1RB0030

県立特別支援校 静岡聴覚特支

(令和 2年度)

## 一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の職員手当等	122,850	122,850	0	
04 共済費	0	0	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	0	0	0	
08 報償費	318,455	318,455	0	
01 その他の報償費	318,455	318,455	0	
09 旅費	152,709	152,709	0	
01 その他の旅費	152,709	152,709	0	
02 普通旅費	0	0	0	
11 需用費	8,310,403	8,310,403	0	
01 その他の需用費	8,305,543	8,305,543	0	
02 食糧費	4,860	4,860	0	
12 役務費	1,058,244	1,058,244	0	
13 委託料	2,171,257	2,171,257	0	
14 使用料及び賃借料	1,878,170	1,878,170	0	
18 備品購入費	0	0	0	
19 負担金、補助及び交付金	38,300	38,300	0	
20 扶助費	2,820,176	2,820,176	0	
27 公課費	15,500	15,500	0	
項 08 学校教育費	11,135,101	11,135,101	0	
目 02 義務教育費	342,114	342,114	0	
01 報酬	333,333	333,333	0	
03 非常勤職員報酬	333,333	333,333	0	
04 共済費	1,041	1,041	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,041	1,041	0	
09 旅費	7,740	7,740	0	
01 その他の旅費	7,740	7,740	0	
目 03 特別支援教育費	818,806	818,806	0	
01 報酬	762,806	762,806	0	

県立特別支援校 静岡聴覚特支

Z1B0030  
Z1RB0030

(令和 2年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
03非常勤職員報酬	762,806	762,806	0	
09旅費	56,000	56,000	0	
01その他の旅費	56,000	56,000	0	
目 04健康体育費	9,974,181	9,974,181	0	
11需用費	7,800	7,800	0	
01その他の需用費	7,800	7,800	0	
12役務費	4,400	4,400	0	
13委託料	9,961,981	9,961,981	0	
計	35,305,156	35,305,156	0	

# 歳出予算執行状況調

(令和 3年度)  
(令和 3年 7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	37,100,290	9,246,393	27,853,897	
項 02 教育委員会費	3,884,360	1,211,422	2,672,938	
目 03 教育管理費	3,764,360	1,211,422	2,552,938	
10 需用費	2,986,000	891,982	2,094,018	
01 その他の需用費	2,986,000	891,982	2,094,018	
11 役務費	61,560	2,640	58,920	
14 工事請負費	400,000	0	400,000	
17 備品購入費	316,800	316,800	0	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 07 特別支援学校費	20,923,530	5,211,064	15,712,466	
目 01 特別支援学校費	2,124,030	233,009	1,891,021	
01 報酬	1,000,000	0	1,000,000	
03 非常勤職員報酬	1,000,000	0	1,000,000	
04 共済費	100,000	0	100,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	100,000	0	100,000	
08 旅費	1,024,030	233,009	791,021	
01 その他の旅費	100,000	0	100,000	
02 普通旅費	924,030	233,009	691,021	
目 02 特別支援学校管理費	18,799,500	4,978,055	13,821,445	
01 報酬	1,558,600	280,000	1,278,600	
03 非常勤職員報酬	1,558,600	280,000	1,278,600	
03 職員手当等	137,000	133,875	3,125	
01 その他の職員手当等	137,000	133,875	3,125	
04 共済費	236,000	59,028	176,972	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	236,000	59,028	176,972	
07 報償費	616,000	81,745	534,255	

Z1B0030  
Z1RB0030

県立特別支援校 静岡聴覚特支

一般会計

(令和 3年度)  
(令和 3年 7月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の報償費	616,000	81,745	534,255	
08 旅費	778,200	16,275	761,925	
01 その他の旅費	360,200	16,275	343,925	
02 普通旅費	418,000	0	418,000	
10 需用費	5,418,000	2,604,429	2,813,571	
01 その他の需用費	5,411,000	2,602,986	2,808,014	
02 食糧費	7,000	1,443	5,557	
11 役務費	1,288,000	297,777	990,223	
12 委託料	2,141,700	520,300	1,621,400	
13 使用料及び賃借料	2,024,000	547,226	1,476,774	
17 備品購入費	662,000	433,400	228,600	
18 負担金、補助及び交付金	100,000	4,000	96,000	
19 扶助費	3,823,000	0	3,823,000	
26 公課費	17,000	0	17,000	
項 08 学校教育費	12,292,400	2,823,907	9,468,493	
目 03 特別支援教育費	2,251,000	328,007	1,922,993	
01 報酬	1,568,000	168,462	1,399,538	
03 非常勤職員報酬	1,568,000	168,462	1,399,538	
03 職員手当等	442,000	132,555	309,445	
01 その他の職員手当等	442,000	132,555	309,445	
04 共済費	40,000	0	40,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	40,000	0	40,000	
08 旅費	201,000	26,990	174,010	
01 その他の旅費	201,000	26,990	174,010	
目 04 健康体育費	10,041,400	2,495,900	7,545,500	
11 役務費	5,000	4,400	600	
12 委託料	10,036,400	2,491,500	7,544,900	
計	37,100,290	9,246,393	27,853,897	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					元年度	2年度	左のうち、 元年度からの 繰越額分
(13)	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		2,171,257	
委託料	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		9,961,981	
計					10,662,577	12,133,238	0
(15)							
工事請負費							
計					0	0	0
(17)							
公有財産購入費							
計					0	0	0
(18)	一般会計	教育費	教育委員会費	教育総務費		191,400	
備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,242,241	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		0	
計					705,310	1,433,641	0
(19)	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		38,300	
負担金、補助及び交付金							
計					73,500	38,300	0
(22)							
補償、補填及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和3年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、2年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	520,300	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	2,491,500	
計					3,011,800	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
計					0	0
(16) 公有財産購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	316,800	316,800
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	433,400	
計					750,200	316,800
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	4,000	
計					4,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金						
計					0	0

# 委託料に関する調

(令和2年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	スクールバス運行管理業務	(株)ユアーズ静岡	2,561,094	1,768,800	-53,273	1,715,527	一般	2.4.1 ～ 3.3.31	2.5.29	147,400	スクールバス運行管理業務	
									2.6.29	147,400		
									2.7.31	147,400		
									2.9.2	147,400		
									2.9.25	147,400		
									2.10.23	147,400		
									2.11.24	147,400		
									2.12.15	147,400		
									3.1.15	147,400		
									3.2.19	147,400		
									3.3.15	147,400		
									3.4.16	94,127		
									(小計)			
2	便所清掃業務	(有)池野商店	281,600	264,000	0	264,000	随契	2.4.13 ～ 3.3.31	2.5.22	16,500	管理棟1・2階、学習棟1・2・3階外便所便所清掃業務	随契1号(少額)
									2.6.12	16,500		
									2.7.3	33,000		
									2.8.7	16,500		
									2.9.11	16,500		
									2.10.8	16,500		
									2.11.13	33,000		
									2.12.1	16,500		
									3.1.7	33,000		
									3.2.1	16,500		
									3.3.10	33,000		
									3.3.26	16,500		
									(小計)			
3	給食業務	(株)ユアーズ静岡	29,611,020	25,427,520	194,720	25,622,240	一般	29.8.1 ～ 2.7.31	2.5.29	719,400	給食調理業務準備・調理・清掃・配膳等	29長期
									2.6.29	719,400		
									2.8.7	719,400		
									2.9.2	790,241		
									(小計)			
4	給食業務	(株)ユアーズ静岡	299,140	299,140	0	299,140	随契	2.8.1 ～ 2.8.13	2.9.30	299,140	給食調理業務準備・調理・清掃・配膳等	随契2号(不適)
5	産業廃棄物収集・運搬及び処分	静和エンバイロメント(株)	収集・運搬16,500円/回 処分37,400円/m3	収集・運搬16,500円/回 処分37,400円/m3	0	収集・運搬16,500円/回 処分37,400円/m3	随契	2.8.11 ～ 2.9.30	2.9.11	35,200	グリストラップ汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
6	給食業務	(株)ユアーズ静岡	30,092,700	29,898,000	0	29,898,000	不随	2.8.14 ～ 5.7.31	2.9.25	830,500	給食調理業務準備・調理・清掃・配膳等	2長期
									2.10.23	830,500		
									2.11.24	830,500		
									2.12.21	830,500		
									3.1.21	830,500		
									3.2.19	830,500		
									3.3.15	830,500		
									(小計)			
7	産業廃棄物収集・運搬及び処分	静和エンバイロメント(株)	49,500	49,500	0	49,500	随契	2.11.17 ～ 3.3.19	3.2.10	49,500	廃蛍光灯処分業務	随契1号(少額)
8	産業廃棄物収集・運搬及び処分	(株)総合美装ワタナベ	35,530	35,530	0	35,530	随契	2.11.19 ～ 3.3.19	3.3.26	35,530	木くず処分業務	随契1号(少額)
9	産業廃棄物収集・運搬及び処分	(株)荒井産業	123,530	106,700	0	106,700	随契	3.2.12 ～ 3.3.30	3.4.12	106,700	混合廃棄物処分業務	随契1号(少額)
10	産業廃棄物収集・運搬及び処分	静和エンバイロメント(株)	収集・運搬16,500円/回 処分37,400円/m3	収集・運搬16,500円/回 処分37,400円/m3	0	収集・運搬16,500円/回 処分37,400円/m3	随契	3.3.4 ～ 3.3.30	3.4.12	35,200	グリストラップ汚泥処分業務	随契1号(少額)単価契約
事務関係計		10件								12,133,238		
合計		10件								12,133,238		

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支出 年月日	金額	委託業務の 内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
参 考 1	警備業務	エスピトーム(株)	円	円	円	円			円			
				11,088,000	0	11,088,000		1.10.1 ～ 6.9.30			施設警備業務	駿河総合高校
2	自家用電気 工作物保安 管理業務	静岡ビル保 善(株)		2,112,000	0	2,112,000		2.4.1 ～ 3.3.31			自家用電気 工作物保安 業務	静岡西高校
3	消防用設備 等保守点検 業務	(有)コーセ イ産業		3,246,353	0	3,246,353		2.4.1 ～ 3.3.31			消防用設備 点検業務	中央特別支 援学校
4	可燃物収集 運搬処分業 務	(株)静岡清 掃企業		運搬12,650 円/回 処分11.0円 /kg	0	運搬12,650 円/回 処分11.0円 /kg		2.4.1 ～ 3.3.31			可燃物収集 運搬処分業 務	静岡農業高 校
5	プール浄化 装置保守点 検業務	大学産業 (株)		809,600	0	809,600		2.4.17 ～ 2.11.20			プール浄化 装置保守点 検業務	静岡西高校
6	ガスヒート ポンプ点検 業務	(株)ユア ーズ静岡		2,860,000	0	2,860,000		2.5.26 ～ 3.3.31			ガスヒート ポンプ点検 業務	静岡高校
7	防鼠防虫業 務	(株)総合美 装ワタナベ		330,000	0	330,000		2.7.1 ～ 3.3.31			厨房等防鼠 防虫業務	清水特別支 援学校
8	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務委託	(有)コーセ イ産業		3,647,600	0	3,647,600		2.9.15 ～ 3.3.31			建築物及び 建築設備の 定期点検業 務	静岡商業高 校
	計	8件										

## 委託料に関する調

(令和3年度)  
(令和3年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
			円	円	円	円			円			
1	(事務関係) スクールバス運行管理業務	(株)ユアーズ静岡	2,458,671	1,767,700	0	1,767,700	一般	3.4.1 ～ 4.3.31	3.5.21 3.6.21 3.7.16 (小計)	146,300 146,300 146,300 438,900	スクールバス運行管理業務	
2	便所清掃業務	(有)池野商店	316,800	260,480	0	260,480	随契	3.4.12 ～ 4.3.31	3.5.7 3.6.4 3.6.21 3.7.30 (小計)	16,280 16,280 16,280 32,560 81,400	管理棟1・2階、学習棟1・2・3階外便所便所清掃業務	随契1号(少額)
3	給食業務	(株)ユアーズ静岡	30,092,700	29,898,000	0	29,898,000	不随	2.8.14 ～ 5.7.31	3.5.21 3.6.21 3.7.16 (小計)	(6,644,000) 830,500 830,500 830,500 2,491,500	給食調理業務準備・調理・清掃・配膳等	2長期
事務関係計		3件								3,011,800		
合計		3件								3,011,800		
参考1	警備業務	エスピトーム(株)		11,088,000	0	11,088,000		1.10.1 ～ 6.9.30			施設警備業務	駿河総合高校
2	家用電気工作物保安管理業務	静岡ビル保善(株)		2,112,000	0	2,112,000		3.4.1 ～ 4.3.31			家用電気工作物保安業務	静岡西高校
3	消防用設備等保守点検業務	旭産業(株)		5,302,000	0	5,302,000		3.4.1 ～ 4.3.31			消防用設備点検業務	中央特別支援学校
4	可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡清掃企業		運搬13,090円/回 処分11.0円/kg	0	運搬13,090円/回 処分11.0円/kg		3.4.1 ～ 4.3.31			可燃物収集運搬処分業務	静岡農業高校
5	プール浄化装置保守点検業務	三笠産業(有)		880,000	0	880,000		3.4.15 ～ 3.11.19			プール浄化装置保守点検業務	静岡西高校
6	ガスヒートポンプ点検業務	光陽エンジニアリング(株)		2,574,000	0	2,574,000		3.5.24 ～ 4.3.31			ガスヒートポンプ点検業務	静岡高校
7	防鼠防虫業務	(株)総合美装ワタナベ		363,000	0	363,000		3.7.1 ～ 4.3.31			厨房等防鼠防虫業務	清水特別支援学校
	計	7件										

様式第13号

## 負担金支出調

(令和2年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国聾学校長会会費	全国聾学校長会	会則による	校長の資質向上	13,000	2.7.10
2	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	開催通知による	特別管理産業廃棄物管理責任者の資格取得	13,800	2.7.22
3	関東地区聾学校長会費	関東地区聾学校長会	規約による	校長の資質向上	5,000	2.9.2
4	関東地区聾学校教頭会費	関東地区聾学校教頭会	会則による	教頭の資質向上	2,000	2.9.18
5	安全運転管理者講習手数料	静岡南地区安全運転管理協会	開催要項による	安全運転管理者の資質向上	4,500	3.1.6
	計	5件			38,300	

様式第13号

## 負担金支出調

(令和3年度)  
(令和3年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国聾学校教頭会会費	全国聾学校教頭会	会則による	副校長の資質向上	4,000	3.7.2
	計	1件			4,000	

# 建 築 工

令和2年度 該当なし

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和3年度 静岡聴覚特別支援学校ガス 消費配管更新工事	静岡市駿河 区中村町地 内	円 396,000	円 385,000	円 0
		合 計	1 件	396,000	385,000	0

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育総務費	令和2年度 静岡県立下田高等学校外114 校校内LAN整備工事	下田市蓮台 寺地内外	円 499,730,000	円 461,571,220	円 33,421,300
2	教育管理費	令和2年度 [第32-Z2406-01号] 静岡視覚特別支援学校他特 別教室空調設備設置工事	静岡市駿河 区曲金地内 外	44,660,000	44,000,000	5,390,000
3	教育管理費	令和2年度 静岡聴覚特別支援学校トイ レ洋式化工事	静岡市駿河 区中村町地 内	15,158,000	13,794,000	-209,000
4	教育管理費	令和2年度 清水特別支援学校他換気扇 設置工事	静岡市清水 区八坂東地 内他	15,037,000	10,560,000	231,000
		合 計	4 件	574,585,000	529,925,220	38,833,300

令和3年度 該当なし

# 事 調

(令和3年度)  
(令和3年7月31日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 385,000	随契	静岡ガスエ ネルギー (株)中部支 店	R3.7.9 (R3.8.31)	円	ガス管31mの更新及びガ ス漏洩・気密試験の実施	—	令達R3.6.25 随契1号 (少額)
385,000							

(令和2年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 494,992,520	一般	西日本電信 電話(株)静 岡支店	R2.8.5 R3.3.23	円 494,992,520	校内LAN整備工事一式 ・フロアスイッチ更新 ・教室への無線LANア クセスポイント設置 ・電源キャビネット設置	—	本庁経理 教育政策課
49,390,000	一般	(株)イヌイ	R2.7.17 R3.1.15	49,390,000	管理棟特別教室他6室、 学習棟特別教室2室他静 岡視覚特別支援学校特別 教室に係る機械設備工事 一式	済	本庁経理 設備課
13,585,000	指名	(株)鎌田配 管工事店	R3.1.20 R3.3.26	13,585,000	和式トイレ21台の洋式化 改修工事	—	本庁経理 教育施設課
10,791,000	随契	日将(株)	R3.1.27 R3.3.26	10,791,000	換気扇を設置する 清水特支45台 静岡視覚特支20台 静岡聴覚特支26台	—	本庁経理 教育施設課 随契7号 (有利)
568,758,520				568,758,520			

## 公有財産調

(令和2年度)

区 分	令和2年3月31日 現 在		増		減		令和3年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産	/	千円 1,515,713	/	千円 23,215	/	千円 15,461	/	千円 1,523,467	
土地	m <sup>2</sup> 11,260.75	1,373,811					m <sup>2</sup> 11,260.75	1,373,811	
立木竹	本 27	236					本 27	236	
建物	m <sup>2</sup> <u>2,292.12</u> 3,699.48	79,369				10,230	m <sup>2</sup> <u>2,292.12</u> 3,699.48	69,139	
工作物	個 79	62,297	11	23,215	2	5,231	個 88	80,281	
公有財産に準ず るもの	/	200	/		/		/	200	
電話加入権	件 5	200					件 5	200	

# 公有財産調

(令和3年度)

(令和3年7月31日現在)

区分	令和3年3月31日 現在		増		減		令和3年7月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳 価格	数量又は面積	台帳 価格	数量又は面積	台帳 価格	数量又は面積	台帳 価格	
行政財産		千円 1,523,467		千円 0		千円 0		千円 1,523,467	
土地	m <sup>2</sup> 11,260.75	1,373,811					m <sup>2</sup> 11,260.75	1,373,811	
立木竹	本 27	236					本 27	236	
建物	m <sup>2</sup> <u>2,292.12</u> 3,699.48	69,139					m <sup>2</sup> <u>2,292.12</u> 3,699.48	69,139	
工作物	個 88	80,281	1	0	1	0	個 88	80,281	
公有財産に準ず るもの		200						200	
電話加入権	件 5	200					件 5	200	

## 借地借家等調

(令和3年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又は契約者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	静岡市駿河区 曲金6-1-5	学校 敷地	学校 敷地	107.63 m <sup>2</sup>	円 0	円 0	31.4.1 ～ 4.3.31	静岡県立静岡視覚特 別支援学校長	寄宿舎敷地
2	土地	道路 敷地	静岡市駿河区 中村町251			20.00m	0	0	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市長	送電線設置
土地計						107.63 m <sup>2</sup> 20.00m	/	0	/	/	/

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和2年度)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)			
				29年度	30年度	元年度	2年度
長期継続契約	給食業務委託契約	給食調理・配膳業務 (契約日) 29.8.1	円 25,622,240	円 5,650,560	円 8,475,840	円 8,547,399	円 2,948,441

(令和3年度)

(令和3年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
長期継続契約	給食業務委託契約	給食調理・配膳業務 (契約日) 2.8.14	円 29,898,000	円 6,644,000	円 9,966,000	円 9,966,000	円 3,322,000	円
	静岡県立静岡聴覚特別支援学校外4校電子複写機賃貸借契約	電子複写機賃貸借 (契約日) 2.4.1	8,778,000	1,755,600	1,755,600	1,755,600	1,755,600	1,755,600
	カラーA3複合機賃貸借契約	カラー複合機賃貸借 (契約日) 2.4.1	541,200	108,240	108,240	108,240	108,240	108,240

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和3年7月31日現在)

整理 番号	区分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	本柱2本	円 1,500	円 3,000	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電柱設 置
2	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251・ 243	学校 敷地	学校 敷地	本柱3本 支線3条	1,500	9,000	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	中部電力(株)電力 ネットワークカン パニー静岡営業所長	電柱設 置
3	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	26.77㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡市長	防災倉 庫設置
4	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	3.91㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡市長	防災同 報無線
5	建物	事務所建	静岡市駿河区 中村町251	管理棟	鉄筋コンク リート造2 階建	0.03㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡市長	防災同 報無線 受信機
6	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	1.69㎡		免除	2. 4. 1 ～ 5. 3. 31	静岡市長	消防施 設設置
7	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	6.01㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡市長	静岡市 道路敷 地
8	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251・ 243	学校 敷地	学校 敷地	鋼管柱 3本	1,500	4,500	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	(株)トコちゃんね る静岡代表取締役 社長	電柱設 置
9	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	0.81㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡豊学校PTA 会長	胸像設 置
10	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	0.34㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡市長	カーブ ミラー 設置
11	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町251	学校 敷地	学校 敷地	0.01㎡		免除	3. 4. 1 ～ 4. 3. 31	静岡県くらし・環 境部環境衛生科学 研究所長	温湿度 計設置

整理 番号	区分	種 別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
12	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町243	学校 敷地	学校 敷地	本柱1本	1,500	1,500	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	西日本電信電話 (株)静岡支店長	電柱設 置
13	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町243	学校 敷地	学校 敷地	3.30㎡		免除	3. 4. 1 ～ 6. 3. 31	静岡県くらし・環 境部水利用課長	地下水 観測施 設設置
14	土地	学校敷地	静岡市駿河区 中村町243	学校 敷地	花壇	122.63㎡		免除	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	静岡聾学校P T A 会長	花壇設 置
合計								18,000			

# 備品・図書調

1 / 3 頁  
(令和 2年度)

所属 0000231121 県立特別支援学校 静岡聴覚特別支援学校

区分	令和 2年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
01-02 台類	17	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	17
01-03 いす類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	28	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	28
01-05 印刷機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	1
01-07 書類整理器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-10 印判類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
01-12 寝具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
01-13 厨房器具類	14	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	14
01-14 冷暖房器具類	8	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	8
01-19 掲示板・黒板	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
02-01 情報処理機器類	40	( 0 ) 7	474,441	( 2 ) 5	0	42
02-02 情報伝達機器類	5	( 0 ) 6	717,200	( 0 ) 1	0	10
02-03 再生機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
03-01 撮影機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	0
03-02 観察・観測用光学機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
04-01 診療・診断用機器類	17	( 0 ) 1	242,000	( 0 ) 0	0	18

ZMB0040  
ZMRB0040

# 備品・図書調

(令和 2年度)

所属 0000231121 県立特別支援学校 静岡聴覚特別支援学校

区分	令和 2年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-02 衛生検査用機器類	8	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	8
04-05 機能回復訓練機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
05-06 環境化学機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
06-99 その他の諸機器類	7	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	7
07-01 農産用機器類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	2
08-01 車両類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
09-01 標本美術品	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
10-02 語学用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	3	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	2
10-06 家庭科用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-07 音楽用器具類	9	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	9
10-09 演劇用器具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
10-12 体育保健用器具類	18	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	18

# 備品・図書調

(令和 2年度)

所属 0000231121 県立特別支援学校 静岡聴覚特別支援学校

区分	令和 2年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
10-99 その他の教育用器具類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
12-01 雑機器	7	( 0) 0	0	( 0) 0	0	7
計	242	( 0) 14	1,433,641	( 2) 10	0	246

# 備品・図書調

(令和 3年度)

(令和 3年 7月31日現在)

所属 0000231121 県立特別支援学校 静岡聴覚特別支援学校

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
01-02 台類	17	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	17
01-03 いす類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	28	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	28
01-05 印刷機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-10 印判類	5	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	5
01-12 寝具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
01-13 厨房器具類	14	( 0 ) 0	0	( 0 ) 1	0	13
01-14 冷暖房器具類	8	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	8
01-19 掲示板・黒板	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
02-01 情報処理機器類	42	( 20 ) 20	0	( 0 ) 0	0	62
02-02 情報伝達機器類	10	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	10
02-03 再生機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
03-02 観察・観測用光学機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
04-01 診療・診断用機器類	18	( 0 ) 2	316,800	( 0 ) 0	0	20
04-02 衛生検査用機器類	8	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	8

# 備品・図書調

(令和 3年度)

所属 0000231121 県立特別支援学校 静岡聴覚特別支援学校

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
04-05 機能回復訓練機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	4	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	4
05-06 環境化学機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
06-99 その他の諸機器類	7	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	7
07-01 農産用機器類	2	( 0 ) 1	306,900	( 0 ) 0	0	3
08-01 車両類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
09-01 標本美術品	6	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	6
10-02 語学用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
10-06 家庭科用器具類	1	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	1
10-07 音楽用器具類	9	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	9
10-09 演劇用器具類	2	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	2
10-12 体育保健用器具類	18	( 0 ) 0	0	( 0 ) 0	0	18
10-99 その他の教育用器具類	2	( 0 ) 1	126,500	( 0 ) 0	0	3



# 主 要 備 品 調

(令和3年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名・規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	1-13	調 理 器 具	真空冷却機 C M J - 20 E	給食調理 毎 日 年間200日	平成15年3月	3,129,000 円
2	4- 1	耳鼻咽喉科用機器	補聴器特性検査設備 リオンL H - 11	補聴器点検 週 2 日 年間100日	平成9年3月	2,678,000
3	4- 2	機 能 検 査 機 器	補聴器特性測定器 F O N I X 7000	補聴器点検 週 2 日 年間100日	平成19年3月	2,488,500
4	9 -1	美術工芸品	絵画 憧れ 50号	来 客 用 毎 日 年間200日	平成29年11月	2,160,000
5	4- 1	耳鼻咽喉科用機器	ワイヤレス集団補聴器 リオンG H - 05	体育館訓練 週 2 日 年間100日	平成4年3月	2,101,200
6	9 -1	美術工芸品	絵画樹霊そのII 100号	来 客 用 毎 日 年間200日	平成30年1月	1,800,000
7	2- 1	パーソナルコンピ ュータ(一式)	パーソナルコンピ ュータ(一式)	授 業 用 毎 日 年間200日	平成29年1月	1,674,000
8	4- 2	機 能 検 査 機 器	言語聴力検査装置 プレイシステムP L 72 スピーカーCOR付SP71	聴 力 検 査 週 3 日 年間120日	昭和59年11月	1,630,000
9	4- 1	耳鼻咽喉科用機器	オージオメーター M E - 170	聴 力 検 査 毎 日 年間200日	平成19年3月	1,512,000
10	1-13	食品食器洗浄機	食品洗浄機 タニコーT D W D 60	給食調理 毎 日 年間200日	平成11年1月	1,365,000
11	4- 2	機 能 検 査 機 器	オージオメーター リオンR S - 30	聴 力 検 査 週 3 日 年間120日	昭和62年3月	1,040,000
12	2- 3	音 響 再 生 機 器	フラットループアンプ リオンG H - 41D	幼 児 指 導 毎 日 年間200日	平成17年8月	977,596
13	2- 3	音 響 再 生 機 器	フラットループアンプ リオンG H - 41D	児 童 生 徒 指 導 週 2 日 年間100日	平成17年8月	945,062
14	10-12	室外競技用器具	平衡感覚訓練用設備 スベリ台・チェーン・ ネットクライミング他	屋 外 訓 練 毎 日 年間200日	昭和58年11月	900,000
15	4- 1	耳鼻咽喉科用機器	オージオメーター A A 76	聴 力 検 査 週 3 日 年間120日	平成15年3月	892,500
16	2- 1	その他の情報処理 機器	校内L A Nサーバー 校内L A N周辺機器一式	校 内 L A N 用 毎 日 年間240日	平成13年3月	861,300
17	4- 1	耳鼻咽喉科用機器	オージオメーター (インサートイヤホン付) A D 229e	聴 力 検 査 週 3 日 年間120日	平成22年3月	834,750
18	4- 1	耳鼻咽喉科用機器	オージオメーター リオンA A - 66D	補聴器点検 週 2 日 年間100日	平成8年3月	813,700
19	2- 1	その他の情報処理 機器	校内L A Nサーバー ネットワークサーバー等機器一式	校 内 L A N 用 毎 日 年間240日	平成21年7月	793,800
20	5-99	試験実験機器	その他の試験実験機器 ドラフトチャンバー	理 科 教 育 用 年 3 回 年間 3 日	昭和53年12月	730,000